

8月も終わりを迎えますが、今週も猛暑が続きました。さて、新型コロナウイルス感染対策として、アルプス福祉会では、事業所をまたぐ会議はオンラインで行うことが増えてきました。また、様々な団体での研修会や、学会等もオンラインでの実施となっています。

実際にオンラインの会議をやってみると、移動時間が節約できるメリットがある一方、直接、顔を合わせることでわかる表情の変化、息づかい、身体的な「間合い」の感覚などがわからない…というやりにくさ、不自由さも実感しています。

人との「関係のカタチ」がこれまでとは大きく変わるなか、新型コロナウイルスに関する差別・偏見が大きな社会的課題となっています。「ソーシャルディスタンス」という物理的距離はとったとしても、お互いの「心の距離」は変わらない社会でありたいですね。

加工トマトの収穫 今季の作業終了！

熱中症対策をして、つくりやみんなでとりくみました

松本市内の2か所で取り組んでいた「加工トマトの収穫」。この猛暑の時期でしたが、水分・ミネラル補給を十分にしたり、短時間作業に切り替えたりしながら、つくりやのなかま・職員が一丸となってとりくみました。その結果、収穫したコンテナは約20Kg、計329箱！

農家さんは、農地の整備、播種、育苗など、様々な作業を経て「収穫最盛期」を迎えます。

この時季は一気に人手が必要ですし、この作業にかかわれたことが、なかまにとっても大きな自信となったと思います。同時に、熱中症対策にはかなり神経を使った作業でもありました。ほんとうにお疲れさまでした！

